

事業種類	地すべり対策		事業名	急傾斜地崩壊対策等				
市町村名	山ノ内町	ふりがな 箇所名	いち せ 瀬	事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H30 年度		
事業概要	区分	10戸(旅館経営者居室6+従業員居室4)		事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	施工延長 L=300m 吹付法砕工 L=300m A=6000㎡		100,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	調査・設計 1式		10,000	4,500	1,000	4,050	450
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	保全対象人家戸数	<input type="checkbox"/> 10戸以上	<input checked="" type="checkbox"/> 5～9戸	<input type="checkbox"/> 4戸未満	20		
		保全対象公共施設数	<input type="checkbox"/> 2箇所以上	<input checked="" type="checkbox"/> 1箇所	<input type="checkbox"/> なし	10		
		保全対象に要援護者施設又は避難所があるか	<input type="checkbox"/> 重要施設又は避難所あり	<input checked="" type="checkbox"/> 一般施設又は避難経路あり	<input type="checkbox"/> なし	30		
						0		
	小 計					60	0.3	18
	重要性	過去の災害履歴	<input type="checkbox"/> 過去10年に1回以上	<input checked="" type="checkbox"/> 災害履歴地	<input type="checkbox"/> なし	30		
		交通遮断による地域経済などへの影響	<input checked="" type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小	30		
		防災計画上の位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 位置づけあり	<input type="checkbox"/> 位置づけなし		20		
	小 計					80	0.15	12
	効率性	費用対効果(B/C)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C3.0以上	<input type="checkbox"/> B/C1.0以上3.0未満	<input type="checkbox"/> B/C1.0未満	70		
		事業効果の早期発現度(事業年数)	<input type="checkbox"/> 5年未満	<input checked="" type="checkbox"/> 5年～10年未満	<input type="checkbox"/> 10年以上	20		
		小 計				90		
	緊急性	斜面の高さ	<input type="checkbox"/> 30m以上	<input checked="" type="checkbox"/> 10m以上30m未満	<input type="checkbox"/> 5m以上10m未満	25		
		斜面平均勾配	<input type="checkbox"/> 45° 以上	<input type="checkbox"/> 40° 以上45° 未満	<input checked="" type="checkbox"/> 30° 以上40° 未満	5		
		地質状況	<input checked="" type="checkbox"/> 崩積土、火山砕屑物、強風化岩	<input type="checkbox"/> 段丘堆積物	<input type="checkbox"/> 軟岩・その他	15		
		植生の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 不良	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 良好	15		
		保全対象の位置	<input checked="" type="checkbox"/> がけ下にある	<input type="checkbox"/> がけ上にある		20		
						0		
小 計					80	0.25	20	
計画 熟度	地元の協力	<input checked="" type="checkbox"/> 用地等の協力が得られる	<input type="checkbox"/> 用地等の協力が概ね得られる	<input type="checkbox"/> 協力が現時点では得られていない	60			
	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地元住民要望強い	<input type="checkbox"/> 市町村要望あり	<input type="checkbox"/> 特に要望はない	40			
					0			
	小 計				100			0.2
費用対効果(B/C)		6.66		評価の合計			79	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	山ノ内町の志賀高原地区における土砂法基礎調査は平成22年度に完了しており、平成23年度以降地元説明を行い警戒区域指定への理解を求めてきたが、観光地域のため区域指定によるイメージダウンの懸念から理解が得られず、ソフト対策と並行してハード対策を進めることにより合意形成を図ることになった。						
	地域からの要望経緯	平成24年5月に観光部に対してイメージダウンの懸念への対応が要請され、現地調査及び区域指定の説明会を行う中でハード対策を進めるよう提案したところ、平成24年11月までにソフトとハード両面での対策推進に理解が得られ、早急な対策を求められた。						
	事業説明等の経緯	平成24年1月に区域指定の説明会を行うが理解を得られず。区域指定及びハード対策について平成24年11月に地権者団体及び旅館組合に説明を行い、それぞれ理解を得た。						
	環境・景観への配慮項目	上信越高原国立公園第2種特別地域内に位置しており、法面工の設計において環境及び景観に配慮が必要。						
	他事業・プロジェクトとの関連							
	特記事項	北信地域随一の観光地である志賀高原地区内の危険箇所であり、特に観光面への配慮から早期着手を強く求められている。						
地域の合意形成	<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成	<input type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	保全対象に6戸および避難路がある。斜面は風化による浸食が進み小崩壊も発生しており、早期に対策を行う必要がある。			行政改革課 意見	重要性、緊急性が認められる。			